

前川國男展

— 岡山からの提言 —

岡山芸術交流 2016 プレイベント

2016_

4_26 tue _ 5_22 sun

 岡山県立美術館
OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

/ 開館時間 9:00-17:00
/ 観覧料 無料
/ 休館日 5月9日(月) ※GWは休まず開館
/ 主催 岡山芸術交流実行委員会
/ 協力 株式会社前川建築設計事務所
株式会社岡田新一設計事務所
岡山県立美術館

 晴れらんまん おかやまの旅
Explorer Okayama, the land of sunshine

撮影：村井修

前川 國 男 展 - 岡山からの提言 -

岡山芸術交流 2016 プレイベント

「日本はまだ普請中だ」

文豪、森鷗外が短編「普請中」に描いたのは西欧文明の衝撃に揺れる近代国家日本の矛盾と葛藤でした。ル・コルビュジエ、アントニン・レーモンドに学び、第二次世界大戦後の日本建築を牽引した前川國男もまた、鷗外同様に、明治以降の日本の知識人たちの苦悩と葛藤を体験しました。「日本における建築」の理想的なあり方を模索し続けた前川。岡山県庁舎、岡山県天神山文化プラザ、林原美術館は、彼の思考とその展開を具現化した貴重な存在です。近接して建てられたこの三つの建築は、それぞれが「工業化・軽量化」から「存在感のあるコンクリート」の追求、そして後半の打込みタイルへつながる「コンクリートの外壁を覆うものとしての焼きもの」へ、と至る前川のテクニカルアプローチの変遷を伝えているのです。

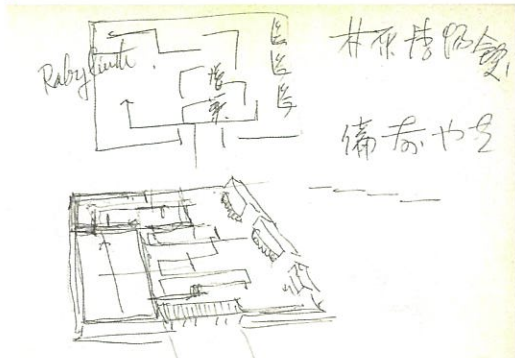
本展では、貴重なオリジナル模型や図面のほか、前川愛用の遺品や同時代のアーティストとの交流を物語るアート作品も公開し、前川の建築的思考を追体験する・体感できる展示空間構成を試みます。建築を通して人と自然、テクノロジーと文明の関係を考え、人間が創り出すよりよい未来の可能性を信じた前川の言葉に、今だからこそ耳を傾けてみませんか。

また、会場では、上記三館と同じくカルチャーゾーンにある岡山県立美術館や岡山市立オリент美術館を設計した建築家・岡田新一氏のパネルも併せて展示し、岡山芸術交流 2016の舞台となる名建築群としてご紹介します。

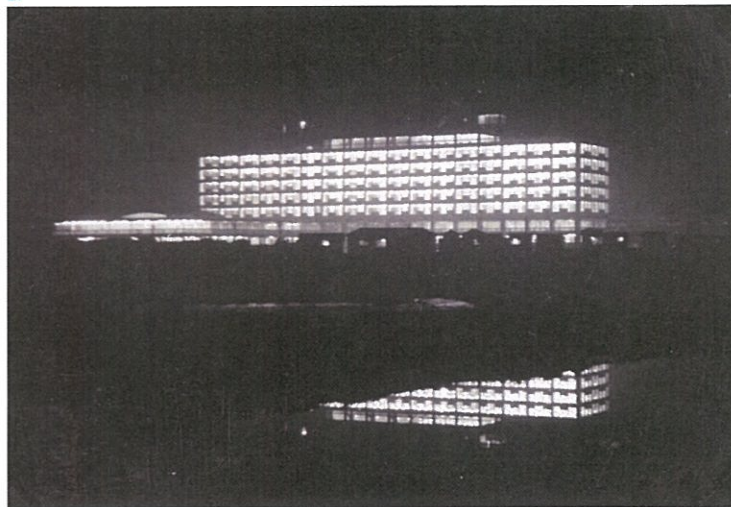
1.



3.



2.



1. 岡山県総合文化センター（現 天神山文化プラザ）[1962]
2. 岡山県庁舎 [1957]
3. 岡山美術館（現 林原美術館）構想 [1963] / スケッチブックより

本展は岡山芸術交流 2016のプレイベントの一環として企画されました。岡山芸術交流は、文化という「資源」をエネルギーにかえて未来を切りひらこうとする岡山の新しい試みです。岡山芸術交流の主会場となる五ヶ所のうち三ヶ所は前川國男による設計です。日本の近代建築史に大きな足跡を残した前川建築が、これからの美術の動向を模索する現代美術の展示会場となるのです。あたかも過去から未来へとバトンを手渡すかのように、異なる時代の才能が時空を超えて交錯する、いわば邂逅の場を、今年、岡山で私たちは目撃することができるのです。前川國男の建築がたたえる先見性と豊かな包容力を、本展示を通して体感していただければ幸いです。



● 前川國男 建築 ● 岡田新一 建築

■ 交通案内 [JR 岡山駅後楽園口から]

- 徒歩：15分 □ 路面電車：東山行 [城下] 下車 徒歩3分
- 宇野バス：四御神 / 瀬戸駅 / 片上方面行 [表町入口] 下車 徒歩3分
- 岡電バス：藤原団地行 [天神町] 下車すぐ
- 循環バスめぐりん：岡山駅前（ドレミの街前）バス停10番乗り場、県庁・京橋線（Cルート）「表町入口」下車 徒歩3分

Development / 開発

岡山芸術交流 | Okayama Art Summit 2016

10.9.2016 - 11.27.2016

www.okayamaartsummit.jp

[会場] 岡山県天神山文化プラザ / 旧後楽館天神校舎跡地 / 岡山市立オリент美術館 / 旧福岡醤油建物 / 岡山城 / シネマ・クレール 丸の内 / 林原美術館 / 岡山県庁前広場 [主催] 岡山芸術交流実行委員会



岡山県立美術館

〒700-0814 岡山市北区天神町 8-48 tel.086-225-4800 fax.086-224-0648
kenbi@pref.okayama.lg.jp <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/kenbi/>

文化庁 平成 28 年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業